

4. 新聞等に掲載された研究

解剖学第一

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
秋野公造・講師	長崎市辰口海岸での海洋生物研究	KTNできたて GOPAN	2004年 6月23日	主に、長崎近海における死滅回遊魚の生態、中でも性転換を行いながらコロニーを維持する仕組みを個体レベル・集団レベルで調査した。

生理学第二

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
篠原一之・教授	産後の不安、香りで解消—東南アジア原産の花の成分合成	毎日新聞	2004年 2月17日	イランイランの主成分であるβカリオフィレンがマタニティブルースの症状を軽減する作用を報告した。
篠原一之・教授	長崎大教授とアロマ油—メディカル・フレグランス 産後の抑うつ緩和に	日経産業新聞	2004年 3月24日	βカリオフィレンはマタニティブルースの症状のうち、抑うつ気分を軽減する作用を報告した。
篠原一之・教授	香りが「ブルー」和らげる	朝日新聞 AERA	2004年 5月24日	βカリオフィレンはマタニティブルースの症状を軽減する作用を報告した。
篠原一之・教授	アロマセラピー「香りでマタニティブルーを改善—1日1時間、室内に噴霧する」	日経ヘルス	2004年 5月号	βカリオフィレンはマタニティブルースの症状を軽減する作用を報告した。
篠原一之・教授	アロマセラピー	NHK おはよう日本	2004年 6月	βカリオフィレンはマタニティブルースの症状を軽減する作用を解説した。
篠原一之・教授	寝不足解消法	KTNテレビ長崎 KTNスーパー ニュースFNN	2004年 8月17日	深夜番組視聴による寝不足解消法について解説した。
篠原一之・教授	匂いによる母子コミュニケーション	ABAN 10月号	2004年 9月25日	母から子へと伝えられる匂いのコミュニケーションについて解説した。
篠原一之・教授	細胞から臓器モデル作成 長崎大・東京大が共同プロジェクト—薬効検査や患者診断 世界初の技術 確立へ—新しい産業創出も検討	長崎新聞	2004年 10月9日	オンチップゼロミクス技術による新規薬物スクリーニング法の確立を目指す研究に着手することを報告した。
篠原一之・教授	長崎大と東大 バイオチップ事業化—新薬の毒性検査 来春にもVB設立	日経新聞	2004年 10月9日	オンチップゼロミクス技術による新規薬物スクリーニング法の確立を目指す研究に着手することを報告した。
篠原一之・教授	「細胞から臓器」技術でベンチャー—長崎大東大「動物実験なしの新薬開発も」	朝日新聞	2004年 10月9日	オンチップゼロミクス技術による新規薬物スクリーニング法の確立を目指す研究に着手することを報告した。

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
篠原一之・教授	長崎大共同研究へ チップ上に細胞配置ー東大大学院助教授成功 ヒトに応用で薬開発へ	読売新聞	2004年 10月9日	オンチップゼロミクス技術による新規薬物スクリーニング法の確立を目指す研究に着手することを報告した。
篠原一之・教授	細胞組み合わせ臓器模擬長崎大と東大ー新薬毒性試験など利用	日経産業新聞	2004年 10月11日	オンチップゼロミクス技術による新規薬物スクリーニング法の確立を目指す研究に着手することを報告した。
篠原一之・教授	長崎大が設立の株式会社ー「長崎TLO」を国が承認ー特許取得の研究成果民間企業に提供	西日本新聞	2004年 10月16日	長崎TLO設立と特許取得の研究成果について報告した。
篠原一之・教授	長崎TLO 文科、経産両省が承認ー長崎大の知的財産 民間企業で実用化	長崎新聞	2004年 10月16日	長崎大学の知的財産を民間企業で実用化するケースについて報告した。
篠原一之・教授	香りで癒す女性特有の不安 マタニティーブルーを香りで癒す	NBC 報道センターNBC	2004年 11月2日	β カリオフィレンはマタニティーブルーの症状のうち、不安を軽減する作用を報告した。
篠原一之・教授	女性の不安を癒す香りを発見	NBC長崎放送スキッピー	2004年 11月15日	β カリオフィレンは女性の不安を軽減する作用を報告した。
篠原一之・教授	香りで女性イライラ解消花の名は「イランイラン」	東京新聞	2004年 11月20日	イランイランの主成分である β カリオフィレンが女性のイライラを軽減する作用を報告した。
篠原一之・教授	女性の不安感 和らげる香り マタニティーブルーや月経前緊張	中国新聞（広島）	2004年 11月20日	β カリオフィレンはマタニティーブルーの症状や月経前緊張症のうち、不安を軽減する作用を報告した。
篠原一之・教授	香りで女性のイライラ解消 不安、倦怠感に効果	長崎新聞	2004年 11月21日	β カリオフィレンは、女性のイライラ、不安、倦怠感を軽減する作用を報告した。
篠原一之・教授	世界初の翻訳機を開発ー赤ちゃんの気持ちが分かる!?ー	NIB 長崎国際テレビ ニュースプラスワン	2004年 11月24日	母子間コミュニケーションを支援する、赤ちゃんの感情翻訳機の研究に着手したことを報告した。
篠原一之・教授	女性癒す香 生理前・産後はコショウが効く	西日本新聞	2004年 12月4日	イランイランの主成分である β カリオフィレンがマタニティーブルーの症状や月経前緊張症を軽減する作用を報告した。
篠原一之・教授	温度変化	産経新聞	2004年 12月6日	母子間コミュニケーションを支援する、赤ちゃんの感情翻訳機の研究のうち、顔表面温度変化について報告した。

薬理学第二

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
上園保仁・助教授	「もってこい長崎」	NHK	2004年 6月14日	NHK TV、長崎大学全学教育「教養セミナー」の取材の中で、私たちのセミナー「長崎刺繍の伝統の継承」のセミナー活動内容が報道された。

病理学第一

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
下川 功・教授	カロリー制限	日経バイオビジネス	2004年 6月1日	カロリー制限による老化制御：アンチエイジング産業としての可能性

内科学第一

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
江口勝美・教授	関節リウマチの治療を目指して	西日本新聞	2004年 7月31日	関節リウマチの治療について公表した。
江口勝美・教授	関節リウマチの治療を目指して	(社)日本リウマチ友の会長崎支部支部報「長流」	2004年 9月30日	関節リウマチの治療について公表した。
江口勝美・教授	関節リウマチの治療は将に転換期を迎えています	(財)日本アレルギー協会九州支部「九州協会ニュース」	2004年 12月1日	超早期診断及び治療により寛解・治療を目指していることについて発表した。

内科学第二

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
河野 茂・教授	できたてGoPan 河野教授の見れば健康 風邪 鳥インフルエンザって何?	KTN	2004年 1月20日	アジアで流行する鳥インフルエンザについて詳細について市民に説明した
河野 茂・教授	できたてGoPan 河野教授の見れば健康 大腸癌	KTN	2004年 2月3日	大腸癌の詳細と検診を奨励した
河野 茂・教授	できたてGoPan 河野教授の見れば健康 花粉症	KTN	2004年 3月16日	花粉症のメカニズム、対処法について分かりやすく説明した
河野 茂・教授	できたてGoPan せいかつ辞典 腎臓の病気	KTN	2004年 4月20日	腎疾患の発症、原因などについて分かりやすく説明した
河野 茂・教授	できたてGoPan せいかつ辞典 脳卒中	KTN	2004年 5月18日	死因の上位を占める脳卒中について危険性などを説明した
河野 茂・教授	できたてGoPan せいかつ辞典 カビが原因の病気	KTN	2004年 6月1日	環境にある真菌に起因する疾病について解説した
河野 茂・教授	できたてGoPan せいかつ辞典 食中毒	KTN	2004年 7月20日	夏季に多い食中毒について注意を喚起した
河野 茂・教授	できたてGoPan せいかつ辞典 熱中症	KTN	2004年 8月3日	熱中症の予防法、対処法について分かりやすく説明した
河野 茂・教授	できたてGoPan せいかつ辞典 山歩き	KTN	2004年 9月7日	山歩きによる健康増進、注意点などについて解説した
河野 茂・教授	できたてGoPan せいかつ辞典 肥満	KTN	2004年 10月5日	肥満のもたらす健康への弊害について分かりやすく説明した
河野 茂・教授	細胞から臓器モデル作成 長崎大・東京大共同プロジェクト 薬効検査や患者診断 世界初の技術確立へ 新しい産業創出も検討	長崎新聞	2004年 10月9日	先端技術であるバイオチップを開発、臨床応用に向けて共同研究する旨の発表
河野 茂・教授	長崎大と東大 バイオチップ事業化 新薬の毒性検査 来春にもVB設立	日本経済新聞	2004年 10月9日	先端技術であるバイオチップを開発、臨床応用に向けて共同研究する旨の発表
河野 茂・教授	「細胞から臓器」技術でベンチャー 長崎大東大「動物実験なしの新薬開発も」	朝日新聞	2004年 10月9日	先端技術であるバイオチップを開発、臨床応用に向けて共同研究する旨の発表
河野 茂・教授	チップ上に細胞配置 東大大学院助教成功 ヒトに 응용で薬開発へ 長崎大共同研究	読売新聞	2004年 10月9日	先端技術であるバイオチップを開発、臨床応用に向けて共同研究する旨の発表
河野 茂・教授	マイクロチップで臓器再現 長崎大など研究着手	共同通信社	2004年 10月12日	先端技術であるバイオチップを開発、臨床応用に向けて共同研究する旨の発表
河野 茂・教授	できたてGoPan せいかつ辞典 便秘	KTN	2004年 11月9日	便秘に対する一般的な対処法などについて説明した
河野 茂・教授	できたてGoPan せいかつ辞典 睡眠といびき	KTN	2004年 12月7日	睡眠時無呼吸症候群を中心に分かりやすく説明した

皮膚科学

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
佐藤伸一・教授	「強皮症」メール相談： 長崎大学病院が窓口開設	長崎新聞	2004年 11月16日	皮膚科膠原病外来の紹介記事とともに、強皮症患者様への社会活動の一環として開始したメールによる相談（強皮症オンライン相談）が紹介された。
佐藤伸一・教授	声：相談窓口開設 強皮症に光明	長崎新聞	2004年 11月22日	11/16の「強皮症」メール相談の記事について、強皮症オンライン相談の開設を高く評価する投書が掲載された。

泌尿器科学

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
酒井英樹・講師	前立腺癌—最新の診断と治療法—	BSラジオ NIKKEI	2004年 9月10日	医学特別番組 〈明日の治療指針〉
野口 満・助手	EDは改善できる疾患です。ためらわずに、一度受診してみてください	EDネットクリニック：九州・沖縄エリア	2004年 6月1日	ED専門サイト
金武 洋・教授	前立腺の治療はいま…	長崎新聞	2004年 11月13日	長崎県医師会健康セミナー

放射線医学

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
上谷雅孝・教授	RA早期診断 臨床経過予測の指標は？	Medical Tribune	2004年 5月13日	間接リウマチ
伊東昌子・助教授	骨密度の測定部位による差 質疑応答Q&A	日本医事新報	2004年 3月6日	骨粗鬆症
伊東昌子・助教授	女性のための健康クリニック 骨粗鬆症	KTN週刊健康マガジン	2004年 6月11日	骨粗鬆症
伊東昌子・助教授	骨密度測定における放射線被曝量 質疑応答Q&A	日本医事新報	2004年 8月7日	骨粗鬆症
伊東昌子・助教授	医療 あんしん 健康「骨粗鬆症」	毎日新聞	2004年 9月20日	骨粗鬆症
伊東昌子・助教授	骨粗鬆症における骨量と骨質とは	Medical Tribune	2004年 11月11日	骨粗鬆症

産科産婦人科学

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
石丸忠之・教授	月経痛	長崎新聞 とととつて	平成16年 4月25日	女性に特有な症状や疾患についてわかりやすく解説した。
石丸忠之・教授	不正性器出血	長崎新聞 とととつて	平成16年 5月9日	女性に特有な症状や疾患についてわかりやすく解説した。
石丸忠之・教授	更年期障害	長崎新聞 とととつて	平成16年 5月23日	女性に特有な症状や疾患についてわかりやすく解説した。
福田久信・助手	早産・切迫早産	長崎新聞 とととつて	平成16年 6月13日	女性に特有な症状や疾患についてわかりやすく解説した。
増崎英明・助教授	母に包まれて	長崎新聞 とととつて	平成16年 6月27日	女性に特有な症状や疾患についてわかりやすく解説した。
増崎英明・助教授	父に寄り添って	長崎新聞 とととつて	平成16年 7月25日	女性に特有な症状や疾患についてわかりやすく解説した。
藤下 晃・講師	子宮内膜症	長崎新聞 とととつて	平成16年 8月8日	女性に特有な症状や疾患についてわかりやすく解説した。
藤下 晃・講師	子宮外妊娠	長崎新聞 とととつて	平成16年 8月22日	女性に特有な症状や疾患についてわかりやすく解説した。
吉村秀一郎・講師	女性の頭痛	長崎新聞 とととつて	平成16年 9月12日	女性に特有な症状や疾患についてわかりやすく解説した。
吉村秀一郎・講師	女性の性感染症	長崎新聞 とととつて	平成16年 9月26日	女性に特有な症状や疾患についてわかりやすく解説した。
中山大介・助手	子宮がん検診	長崎新聞 とととつて	平成16年 10月10日	女性に特有な症状や疾患についてわかりやすく解説した。
小寺宏平・助手	ふえてきた子宮体癌	長崎新聞 とととつて	平成16年 11月14日	女性に特有な症状や疾患についてわかりやすく解説した。
平木宏一・助手	内視鏡手術	長崎新聞 とととつて	平成16年 11月28日	女性に特有な症状や疾患についてわかりやすく解説した。
森山伸吾・助手	卵巣腫瘍	長崎新聞 とととつて	平成16年 12月12日	女性に特有な症状や疾患についてわかりやすく解説した。
石丸忠之・教授	月経痛	KTNテレビ長崎 できたてGopan 女性と健康	平成16年 4月6日	月経痛についてわかりやすく解説した。
増崎英明・助教授	おなかの中の赤ちゃん	KTNテレビ長崎 できたてGopan せいかつ辞典	平成16年 5月4日	胎児についてわかりやすく解説した。
石丸忠之・教授	無月経	KTNテレビ長崎 できたてGopan 女性と健康	平成16年 6月15日	無月経についてわかりやすく解説した。
増崎英明・助教授	健康な赤ちゃんを産むために	KTNテレビ長崎 できたてGopan せいかつ辞典	平成16年 7月6日	妊娠中の生活についてわかりやすく解説した。
藤下 晃・助教授 北島道夫・助手	不妊治療	KTNテレビ長崎 スーパーニュー スKTN 特集	平成16年 10月6日	長崎県特定不妊治療助成事業実施の開始にあわせ、不妊治療についてわかりやすく解説した。

脳神経外科学

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
永田 泉・教授 北川直毅・講師	脳梗塞医療最前線	NBC長崎放送 「報道センターNBC」	2004年 5月13日	最新の脳梗塞の診断、治療についての解説

形成外科学

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
秋田定伯・助手	創傷治癒	創傷治癒センター (web site)	2004年7月 第2回世界創傷治癒学会学会報告	創傷治癒に関する世界最大学会を日本最大のweb siteに報告
秋田定伯・助手	創傷治癒・難治性潰瘍	創傷治癒センター (web site)	2004年9月 第6回日本褥瘡学会学会報告	日本最大の褥瘡学会関連報告を創傷治癒に関する日本最大のweb site報告
秋田定伯・助手	幹細胞生物学	中国新聞 (コメンタリー)	2004年 8月11日	骨・軟骨へ分化する幹細胞の大量増殖方法に対する権威としてのコメント
秋田定伯・助手	形成外科	Dermatology Times, "Critical for survival" healing can be accelerated by combining skin substitute and stem cells.	Vol 25, No.2, 2004	皮膚科のアメリカでの出版専門誌で、関連領域の特筆すべき研究として掲載

放射線疫学研究分野 (原研疫学)

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
柴田義貞・教授	故・調来助長崎大学名誉教授の「長崎医科大学原爆被災復興日誌」の英訳	長崎新聞 西日本新聞	2004年 5月19日 2004年 5月21日	ヒバクシャ医療への国際協力

変異遺伝子解析研究分野（原研遺伝）

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
新川詔夫・教授	マルファン症候群原因遺伝子発見	朝日新聞	2004年 7月5日	マルファン症候群原因遺伝子の発見
新川詔夫・教授	マルファン症候群原因遺伝子発見	毎日新聞	2004年 7月5日	身長伸び心臓病など「マルファン症候群」新たな原因遺伝子
新川詔夫・教授	マルファン症候群原因遺伝子発見	日刊工業新聞	2004年 7月5日	マルファン症候群2型の原因解明-情報伝達物質の受容体遺伝子の損傷や変異
新川詔夫・教授	マルファン症候群原因遺伝子発見	長崎新聞	2004年 7月5日	先天性疾患の原因遺伝子 新川長大教授ら特定
新川詔夫・教授	マルファン症候群原因遺伝子発見	日本経済新聞	2004年 7月5日	先天性疾患の原因遺伝子特定
新川詔夫・教授	マルファン症候群原因遺伝子発見	北海道新聞	2004年 7月5日	体が細長く突然死も「マルファン症候群」原因遺伝子を特定
新川詔夫・教授	マルファン症候群原因遺伝子発見	化学工業新聞	2004年 7月5日	遺伝病マルファン症候群「2型」の原因遺伝子発見JST研究チーム 確定診断・予防に道
新川詔夫・教授	マルファン症候群原因遺伝子発見	日経産業新聞	2004年 7月5日	突然死招く「マルファン症候群」新たな原因遺伝子発見 横浜市大と長崎大
新川詔夫・教授	マルファン症候群原因遺伝子発見	asahi.com（インターネット記事）	2004年 7月5日	リンカーンも発症？のマルファン症候群，原因遺伝子発見
新川詔夫・教授	マルファン症候群原因遺伝子発見	Yahoo Japan News（インターネット記事）	2004年 7月5日	先天性疾患の遺伝子特定 マルファン症候群

分子診断研究分野（原研細胞）

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
	ヒバクシャ医療向上に貢献 日本チェルノブイリ連帯基金に「第五回永井隆平和記念・長崎賞」	毎日新聞	2004年 1月9日	国際ヒバクシャ医療
山下俊一・教授	大学院医歯薬学総合研究科、原研の山下教授がアジア・オセアニア甲状腺学会「大塚賞」を受賞した。	長崎県医師会報	2004年 2月	甲状腺がんの研究成果
	永井賞 長崎で受賞記念講演会	読売新聞	2004年 2月5日	国際ヒバクシャ医療
	あす講演会「第5回永井隆平和記念・長崎賞」受賞者、鎌田實理事長の講演会が長崎市内で明日行われる。	長崎新聞	2004年 2月12日	国際ヒバクシャ医療
	特集長崎大学の21世紀COEプログラム放射線被ばく医療・疫学コンソーシアム	科学新聞	2004年 2月13日	国際ヒバクシャ医療
	チェルノブイリ救済語る 永井隆賞の鎌田實さん講演 「病院本位の医療を批判」	西日本新聞	2004年 2月14日	国際ヒバクシャ医療
	永井平和賞 チェルノブイリ基金に賞状贈る	長崎新聞	2004年 2月14日	国際ヒバクシャ医療
	永井隆平和記念・長崎賞「連帯基金」の鎌田氏が講演	朝日新聞	2004年 2月14日	国際ヒバクシャ医療
	長崎大は南西ウェールズがん研究所（英国）と学術交流協定を結んだ	長崎新聞	2004年 3月9日	国際ヒバクシャ医療
山下俊一・教授	唯一の被爆国日本はカザフスタンの援助を継続する	セミパラチンスク新聞	2004年 5月27日	国際ヒバクシャ医療
	「核軍縮、一生懸命に」ウクライナのコスチャンティン・グリシチェンコ外相が長崎市長と歓談した。	毎日新聞	2004年 6月10日	国際ヒバクシャ医療
	旧ソ連時代、チェルノブイリ原発事故があったウクライナのコスチャンティン・グリシチェンコ外相が9日、長崎市を訪れた。	西日本新聞	2004年 6月10日	国際ヒバクシャ医療

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
	旧ソ連時代、チェルノブイリ原発事故があったウクライナのコスチャンティン・グリシチェンコ外相が9日、長崎市を訪れ、原爆落下中心碑に献花した。	長崎新聞	2004年 6月10日	国際ヒバクシャ医療
	ウクライナのコスチャンティン・グリシチェンコ外相が9日、長崎市を表敬訪問した。	朝日新聞	2004年 6月11日	国際ヒバクシャ医療
	ロシアなど4か国の医師らが21日、長崎・ヒバクシャ医療国際協力会(NASHIM)の招きで長崎市で被ばく者医療研究を始めた。	読売新聞	2004年 7月22日	国際ヒバクシャ医療
	被ばく者医療の医師ら知事表敬・長崎・ヒバクシャ医療国際協力会(NASHIM)の招きで来崎中の4か国5人	長崎新聞	2004年 7月22日	国際ヒバクシャ医療
	NASHIM招待の被爆者医療研修団 原爆資料館など見学	西日本新聞	2004年 7月22日	国際ヒバクシャ医療
	韓国北部で被爆者検診 県と長崎市は10月2～7日、医師を派遣して、在韓被爆者の健康診断・相談を実施する	毎日新聞	2004年 9月14日	国際ヒバクシャ医療
	市民公開講演：鎌田實「放射線といのち」	朝日新聞	2004年 11月21日	放射線影響学会
	長崎市で、第47回日本放射線影響学会が25日開幕した	毎日新聞	2004年 11月26日	放射線影響学会
	第47回日本放射線影響学会が25日から明日27日まで長崎市において開催されている。	長崎新聞	2004年 11月26日	放射線影響学会
	25日から三日間、長崎市で日本放射線影響学会が開催、諏訪中央病院の管理者である鎌田實さんが「放射線といのち」と題した講演をした。	朝日新聞	2004年 11月30日	放射線影響学会
山下俊一・教授	山下俊一教授が12月15日付で世界保健機関(WHO)の「環境と健康局放射線プログラム専門科学官」に就任紹介	長崎新聞	2004年 11月30日	国際放射線保健

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
山下俊一・教授	WHO専門官への就任紹介と「被爆地医療を世界へ」の気概紹介	西日本新聞	2004年 12月8日	国際放射線保健
山下俊一・教授	「ひと」欄掲載 WHOの放射線部門の責任者への就任紹介	朝日新聞	2004年 12月15日	国際放射線保健
山下俊一・教授	「インタビュー2004」欄掲載 「核被害者救済へNGOを」	長崎新聞	2004年 12月20日	国際放射線保健

○「研究内容の概要と社会との関連」

国際ヒバクシャ医療協力活動の成果を原爆被爆者医療へ還元し、同時に長崎の被爆医療のノウハウを世界へ発信し、海外からの研修生の受け入れ指導と公開セミナー開催など市民の目の高さでの医学の推進、啓蒙に尽力している。

分子治療研究分野（原研内科）

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
朝長万左男・教授	「原子力レポート 考えてみて！放射線のこと」	CS放送 サイエンスチャンネル	2004年 3月3日 2004年 3月10日	原爆後障害医療
	平和宣言文起草委員会起草委員会初会合「原爆の被害ご存じですか」	読売新聞	2004年 5月23日	原爆後障害医療
朝長万左男・教授	「非核の政府を求める長崎県民の会総会」にて英国バーミンガム大学であった核問題シンポジウムにおいて、被爆者の染色体異常など発表した事を報告	西日本新聞 長崎新聞	2004年 6月12日	原爆後障害医療
	戦後60周年記念作品として長崎原爆投下直後の被爆医療に携わった秋月医師をモデルにアニメ製作発表	長崎新聞	2004年 7月30日	原爆後障害医療
	放射線医療科学国際コンソーシアム21世紀COEプログラムで長崎大高評価	長崎新聞	2004年 11月30日	放射線医療科学国際コンソーシアム
	戦後60周年記念作品アニメ「アンゼラスの鐘」製作協力（資料・制作費提供）呼びかけを街頭にて行った。	毎日新聞 日本経済新聞 朝日新聞 長崎新聞	2004年 12月20日	原爆後障害医療
岩永正子・助手	IPPNW (International Physicians for the Prevention of Nuclear War) 第16回世界大会—(北京大会) 報告「原爆被爆者の健康への影響」について講演	広島県医師会速報	2004年 10月25日	原爆後障害医療

国際放射線保健部門（原研国際）

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
	ヒバクシャ医療向上に貢献 日本チェルノブイリ連帯基金に「第五回永井隆平和記念・長崎賞」	毎日新聞	2004年 1月9日	国際ヒバクシャ医療
	永井賞 長崎で受賞記念講演会	読売新聞	2004年 2月5日	国際ヒバクシャ医療
	あす講演会「第五回永井隆平和記念・長崎賞」受賞者、鎌田實理事長の講演会が長崎市内で明日行われる。	長崎新聞	2004年 2月12日	国際ヒバクシャ医療
	チェルノブイリ救済語る 永井隆賞の鎌田實さん講演 「病院本位の医療を批判」	西日本新聞	2004年 2月14日	国際ヒバクシャ医療
	永井平和賞 チェルノブイリ基金に賞状贈る	長崎新聞	2004年 2月14日	国際ヒバクシャ医療
	永井隆平和記念・長崎賞「連帯基金」の鎌田氏が講演	朝日新聞	2004年 2月14日	国際ヒバクシャ医療
	ロシアなど4か国の医師らが21日、長崎・ヒバクシャ医療国際協力会(NASHIM)の招きで長崎市で被ばく者医療研究を始めた。	読売新聞	2004年 7月22日	国際ヒバクシャ医療
	被ばく者医療の医師ら知事表敬 長崎・ヒバクシャ医療国際協力会(NASHIM)の招きで来崎中の4か国5人	長崎新聞	2004年 7月22日	国際ヒバクシャ医療
	NASHIM招待の被爆者医療研修団 原爆資料館など見学	西日本新聞	2004年 7月22日	国際ヒバクシャ医療

○「研究内容の概要と社会との関連」

国際ヒバクシャ医療協力活動の成果を原爆被爆者医療へ還元し、同時に長崎の被爆医療のノウハウを世界へ発信し、海外からの研修生の受け入れ指導と公開セミナー開催など市民の目の高さでの医学の推進、啓蒙に尽力している。

資料収集保存部 資料調査室（原研情報室）

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
三根真理子・助教授	原爆被災調査資料の収集	西日本新聞	2004年 5月31日	原爆投下直後に長崎医科大学が調査した「調査票」が放射線影響研究所に保管されていた。医学部は複製を作製し、展示室にて一般公開する。
三根真理子・助教授	被爆体験者の医療給付拡大	長崎新聞	2004年 12月21日	被爆体験者の居住要件を県内まで拡大するための検討会が行われた。

生活習慣病予防診療部

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
川崎英二・助教授	劇症1型糖尿病	弥生	2004年 12月1日	劇症1型糖尿病の病因・診断・治療の啓蒙

国際ヒバクシャ医療センター

氏名・職	研究題目	掲載紙誌等	掲載年月日	研究内容との概要と社会との関連
	長崎の医師 被爆者の相談 海渡り韓国で	朝日新聞	2004年 7月22日	国際ヒバクシャ医療
	在韓被爆者にPTSD 長崎 の医師団 韓国で初の健 診	読売新聞	2004年 7月22日	国際ヒバクシャ医療
	長崎県・視派遣医師団 韓国で初の被爆者健診 PTSD患者確認	西日本新聞	2004年 7月22日	国際ヒバクシャ医療
	長崎の医師団 韓国で初 の被爆者健診 PTSD症状 の患者も	長崎新聞	2004年 7月22日	国際ヒバクシャ医療
	在韓初の健康相談 国の 被爆者支援事業	朝日新聞	2004年 7月22日	国際ヒバクシャ医療
大津留 晶・助 教授, 副センタ ー長	ヒバクシャ医療の拠点に 長崎大の国際ヒバクシャ 医療センター	奈良新聞	2004年 8月22日	国際ヒバクシャ医療
	在韓被爆者 来月2日か ら健康相談	長崎新聞	2004年 9月14日	国際ヒバクシャ医療
	韓国北部で被爆者検診 来月, 県と長崎市	毎日新聞	2004年 9月14日	国際ヒバクシャ医療
大津留 晶・助 教授, 副センタ ー長	医師4人をきょう南米派 遣 被爆者の健康相談な どで	長崎新聞	2004年 10月20日	国際ヒバクシャ医療
大津留 晶・助 教授, 副センタ ー長	日本の医師団がペルー在 住の被爆者の健診を行っ た	ペルー新報	2004年 10月30日	国際ヒバクシャ医療
	緊急被ばく医療を考える 医学関係者らフォーラム	長崎新聞	2004年 12月18日	緊急被ばく医療
山下俊一・教授, センター長	世界保健機関 (WHO) 「環境と健康局放射線プ ログラム専門科学官」に 就任した	長崎新聞	2004年 12月20日	国際ヒバクシャ医療

○「研究内容の概要と社会との関連」

国際ヒバクシャ医療協力活動の成果を原爆被爆者医療へ還元し、同時に長崎のヒバクシャ医療のノウハウを世界へ発信する。海外からの医療関係者の研修指導や渡日治療を受ける被爆者の受け入れを行う。